

機関誌「ミドリ (midori)」NO.110 秋号 2018
(公益財団法人 かながわトラストみどり財団)

県の花“やまゆり”に思う

私達が活動する湘南平山麓^{さんろく}は、70年前までは、7月は馥郁^{ふいく}たるヤマユリの香りに包まれていました。その後10年を待たずに、何故か一気に減少してしまいました。

当時、小規模の知的障害児童入所施設〔定員40名〕であった進和学園の散策コースに懐かしい香りが無いことを、前理事長(兄)の出縄明はここのほかに寂しく感じていました。

昭和30年代の後半、未だ支援の場所の無い成人の方達数名が学園に身を寄せてきました。兄は、その方達の協力で、地域の宝物「湘



▲昭和40年7月、ヤマユリとともに

南平」に県の花”やまゆり“を咲かせたいと植え付けを開始しました。努力は報われ3年後には見事に咲き乱れました。

残念ながら数年で、心ない人の手により消滅の憂き目を見ました。

このたび貴財団『かなユリ・チャレンジ』企画に参加させていただきますこと、往時の兄たちの夢を叶える絶好の機会となります。

そして、ここ湘南の地に咲き誇る”やまゆり“を、平成28年7月26日に惹き起こされた”津久井やまゆり園”の無念な事件による犠牲者の鎮魂と仲間として決してこのことを忘却しないことの証としたいと願います。

社会福祉法人 進和学園 理事長 出縄雅之